

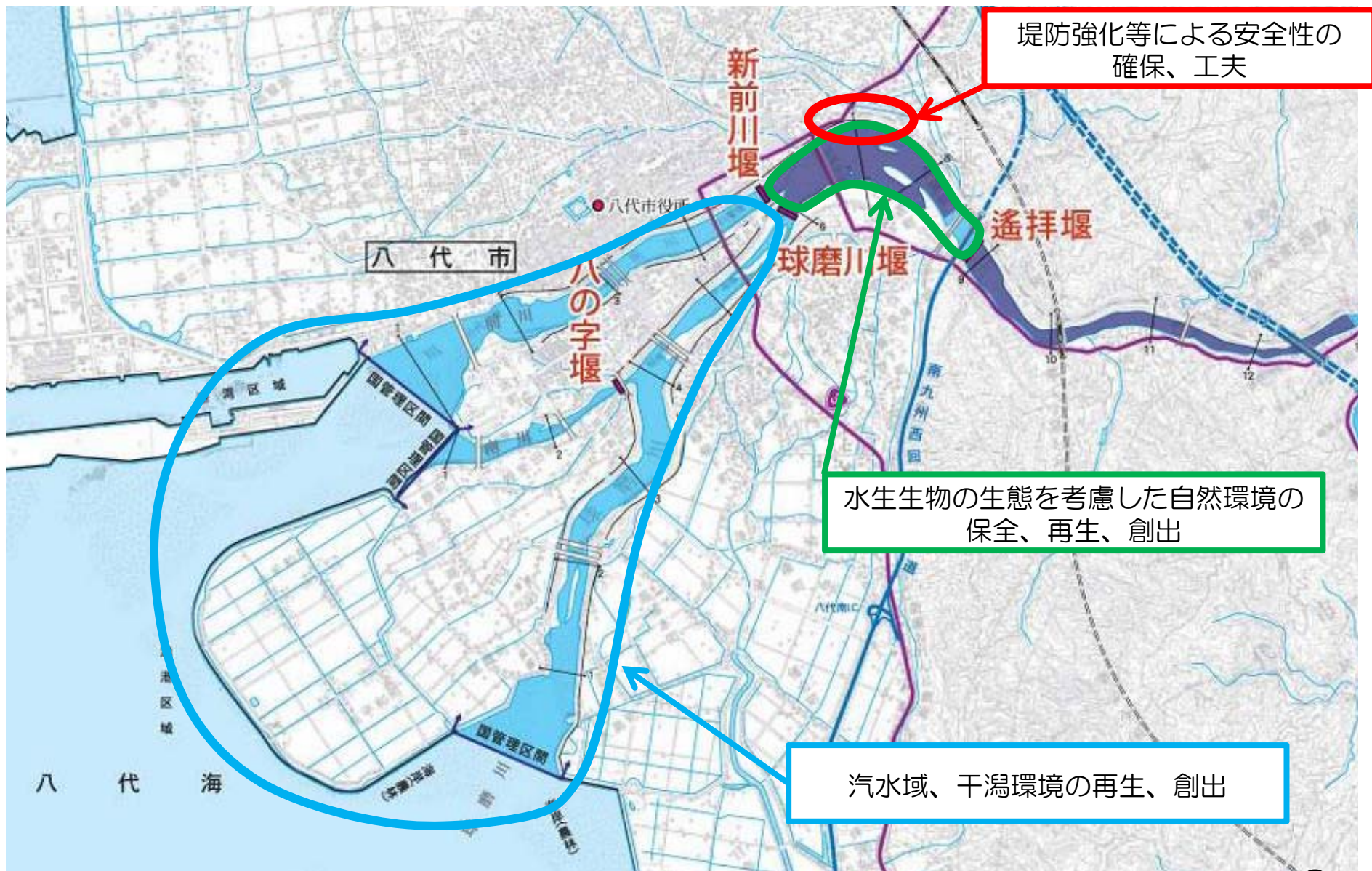
第3回 球磨川下流域景観デザイン検討委員会

自然再生に関するプロセスについて

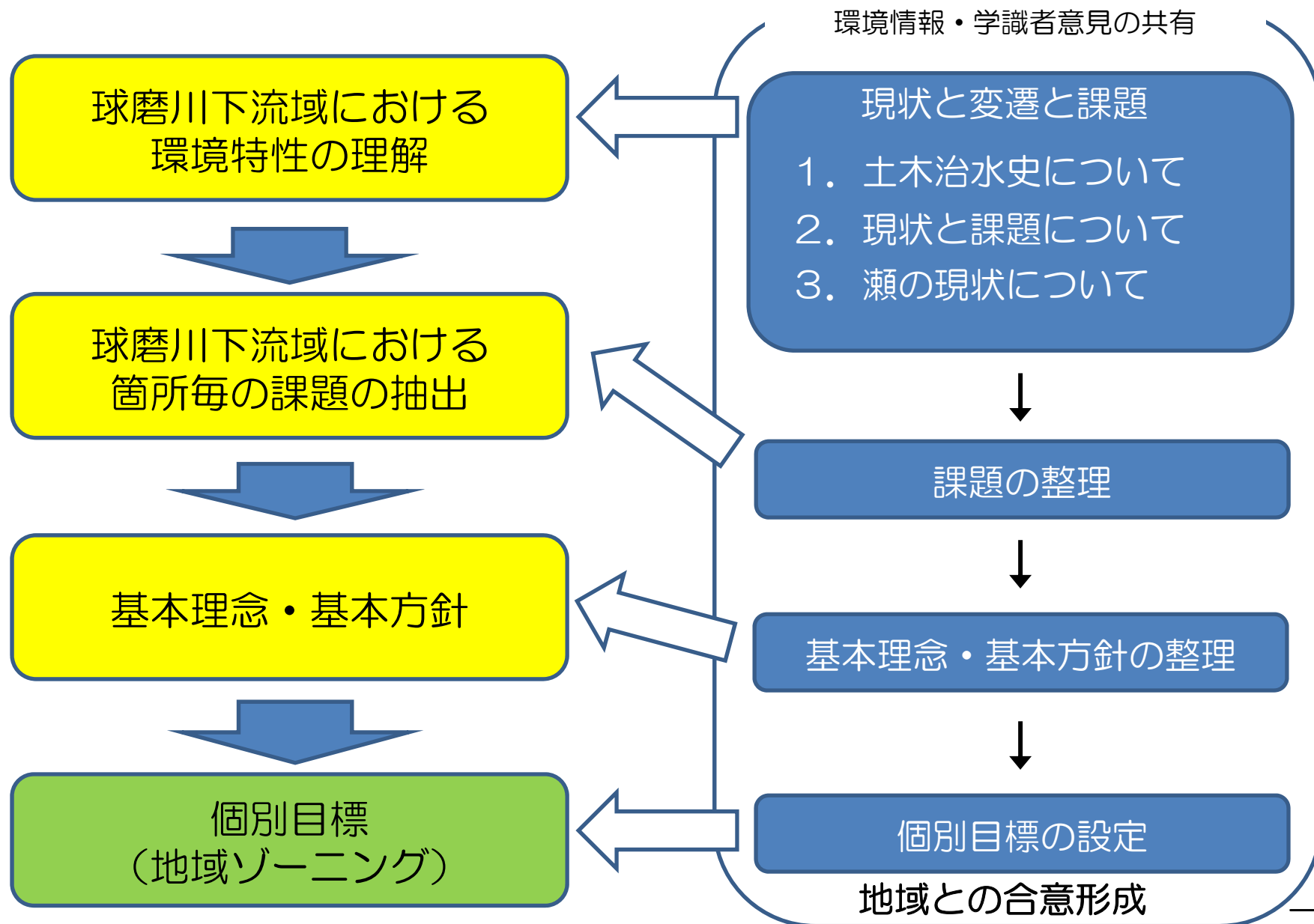
平成25年5月30日

八代河川国道事務所

球磨川下流域の自然再生に関するゾーニング



球磨川下流域の自然再生に関するプロセス

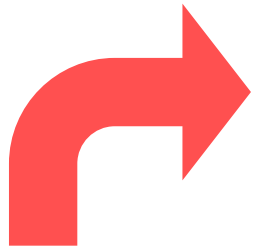


球磨川下流域の自然再生に関する個別目標

個別目標（ゾーニング）

1. 堤防強化等による安全性の確保、工夫（ゾーン）
 - ・ 萩原堤前の流速低減対策のための水制工の設置、工夫 等
2. 水生生物の生態を考慮した自然環境の保全、再生、創出（ゾーン）
 - ・ 遙拝堰直下流の瀬、淵の再生、アユの産卵場の保全
 - ・ 上流で掘削した砂礫を利用した河床の深掘箇所改善 等
3. 汽水域、干潟環境の再生、創出（ゾーン）
 - ・ 汽水域、河口域の覆砂によるヨシ原の再生、創出 等
4. 住民協同の川づくり整備・維持管理体制の構築
 - ・ 麦島地区のかわまちづくり計画の構築 等

順応的管理
(モニタリング)

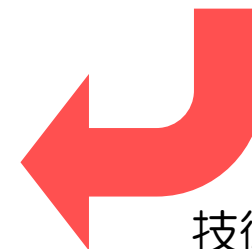


技術の改良と工夫

生物生息環境の場を

- ・ 再生：失われた場をもとにもどす
- ・ 改善：悪化した場を良くする
- ・ 創出：新しい場をつくる
- ・ 工夫：より良い場になるように工夫する
- ・ 保全：悪くならないよう守り維持する

技術効果の予測
科学的に評価
事業の再検討



技術効果の評価

評価と予測手法の精度向上と開発

- ・ 数値シミュレーション
- ・ 生物生息環境評価モデル

